

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会案内

東京都教育委員会は、所属校（園）における教育活動を通して、各教科等の内容、指導方法等を研究し、様々な課題の解決と指導力の向上を図り、当該地区等における教育研究活動の中核となる教員としての資質・能力を養成するために、教育研究員を設置しています。

令和5年度は、133名の教育研究員が、共通の研究テーマ「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」に基づき、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等の各教科等の部会において、研究を進めてきました。

この度、研究のまとめとして、教育研究員の所属校等において、以下のとおり研究成果の発表会を開催します。

校種等	部会名	校種等	部会名	
幼稚園	幼稚園	中学校	社会	
	国語		数学	
社会	理科			
小学校	算数	中・高 合同	特別活動	
	理科	高等学校	地理歴史	
	図画工作		公民	
	体育		理科	
	特別の教科 道徳		外国語	
	特別活動	特別支援学校等	知的障害教育	
	総合的な学習の時間		発達障害等教育	
	小・中 合同	外国語活動・外国語	全校種	学校保健

<問合せ先>

東京都教育庁指導部指導企画課

電話 03-5320-6849

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（幼稚園）

部会名	研究内容		発表会	
幼稚園	研究主題	互いに自分の思いや考えを表現し合い、自己を発揮する幼児の育成 ～ 友達や集団の中で、一人一人のよさが生きるための教師の援助と環境の工夫 ～	日時	令和6年2月8日（木） 午後1時から午後4時30分まで (受付開始：午後0時30分)
	概要	友達や集団の中で、互いに自分の思いや考えを表現し合い、自己を発揮する幼児の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。  ① 「幼稚園の中で『協同性』が育まれる過程」と「幼児が互いに思いや考えを表現し合うために必要な経験」を明らかにする。 ② 友達や集団の中で、幼児一人一人のよさが生きるための教師の援助と環境の工夫を探る。	会場	港区立白金台幼稚園
			公開保育	年長 5歳児学級
			講師	東京都国公立幼稚園・こども園長会 会長 台東区立石浜橋場こども園 園長 和田 万希子 氏

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（小学校）

部会名	研究内容		発表会	
国語	研究主題	自分の考えが伝わるように書く指導法の工夫 ～ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える活動を通して～	日時	令和6年2月5日（月） 午後1時40分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時20分）
	概要	自分の考えが伝わるように書くことができる児童を育てるために、以下の2点を中心に研究を行った。  ① 児童が意欲をもって目的を意識しながら課題に取り組めるよう、目的意識や必要感のある単元設定の効果についての検証 ② 児童が単元の見通しをもち、自分の学びを自覚、調整できるよう、学習の積み重ねが見える振り返りの実施及び児童が文や文章を整えるための観点の明確化の効果についての検証	会場	狛江市立狛江第三小学校
			公開授業	第5学年 「あなたは、どう考える」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 大塚 健太郎 氏
部会名	研究内容		発表会	
社会	研究主題	思考につながる知識を習得する児童の育成 ～ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	日時	令和6年2月8日（木） 午後1時30分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	児童が自ら学習する環境や資料を選び、主体的・意欲的に調べ、調べたことを整理・共有することで知識を獲得し、思考を深めることができる児童の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。  ① 児童が「学習環境」や「資料」を選択し、主体的・意欲的に調べて学習を行う効果についての検証 ② 基礎的な知識の整理・共有場面についての検証 ③ 児童が知識をつなげて思考を深められるような指導の工夫についての検証	会場	羽村市立羽村東小学校
			公開授業	第5学年 「情報を生かすわたしたち」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 小倉 勝登 氏
部会名	研究内容		発表会	
算数	研究主題	児童の学びを支える指導の工夫 ～ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	日時	令和6年2月1日（木） 午後1時30分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業を通して、数学的な見方・考え方を深め、数学の事象を統一的・発展的に考える児童の育成を目指し、以下の3点を中心に研究を行った。  ① 既習事項の活用、問題設定や提示の工夫、学習を調整する場の設定 ② 多様な見方・考え方に触れる機会の創出、数学的な見方・考え方の可視化 ③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を位置付けた指導計画の作成	会場	杉並区立桃井第四小学校
			公開授業	第4学年 「変わり方」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 笠井 健一 氏

部会名		研究内容	発表会	
理科	研究主題	一人一人が考え、学び合い、問題解決する児童の育成 ～ 児童の考えを生かした様々な方法での観察・実験の実践 ～	日時	令和6年2月22日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで (受付開始: 午後1時)
	概要	一人一人の児童が自らの考えを基に問題解決を行うことや、他者と協働しながら考えを深めることで、理科における資質・能力を育成できると考え、以下の点を中心に研究を行った。 ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた、児童の考えを生かした様々な方法での観察・実験の実践 ② ①を行うため、授業の流れを整理した「問題解決ツリー」の作成及び有効性の検証	会場	板橋区立志村坂下小学校
			公開授業	第5学年 「物の溶け方」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 有本 淳 氏
部会名		研究内容	発表会	
図画工作	研究主題	自分らしくつくる喜びを味わう児童の育成 ～ 児童が思いの実現を繰り返す授業づくり ～	日時	令和6年2月20日(火) 午後1時35分から午後4時30分まで (受付開始: 午後1時)
	概要	児童が、資質・能力を発揮して表現等の活動を行い、思いの実現を繰り返すことで、自分らしくつくる喜びを味わうことを目指し、以下の2点を中心に研究を行った。 ① 自分の思いを実現できる授業づくりの視点で整理した手だて表の作成 ② 授業において教師が手だて表を活用した指導及び支援により、児童の自らの行為等から発想・構想し実現する姿や、友達や教師と関わり合いながら思いを基に自分らしく活動をやり切る姿等の検証	会場	武蔵野市立第四小学校
			公開授業	第4学年 「ようこそ ゆめの キチジョウジへ」
			講師	東京都図画工作研究会 副会長 八王子市立七国小学校 校長 長田 猛 氏
部会名		研究内容	発表会	
体育	研究主題	課題解決の学習過程を通して、運動の楽しさや喜びを味わうボール運動系の学習 ～ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ～	日時	令和6年2月16日(金) 午後1時45分から午後4時30分まで (受付開始: 午後1時15分)
	概要	ボール運動系において、課題を見付け、その解決に取り組むとともに、自らの学習活動を振り返り、次の学びにつなげながら、運動の楽しさや喜びを味わう児童の育成を目指し、以下の3点を視点を研究を行った。 ① 運動との多様な関わり方を明確にした指導計画 ② 個別最適な学びと協働的な学びの充実を図るデジタルの活用 ③ 学習改善を促す言葉掛け	会場	中野区立みなみの小学校
			公開授業	第4学年 「フラッグフットボール」 第5学年 「ソフトバレーボール」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 塩見 英樹 氏

部会名		研究内容	発表会	
特別の教科 道徳	研究主題	自己の生き方についての考えを深める児童の育成 ～ 道徳科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して～	日時	令和6年2月22日(木) 午後1時45分から午後4時30分まで (受付開始: 午後1時15分)
	概要	本研究では、自己を振り返り、自他の思いや考えを大切に、よりよい生き方を考える児童の育成を目指し、以下の2点を研究の視点とし、検証を行った。 ① 児童がねらいとする道徳的価値に問題意識を持ち、主体的に自己を見つめ、自己の生き方を考えることができるように発問の構成を工夫すること ② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることを目的として、デジタル機器を活用した学習活動を取り入れること	会場	武蔵野市立桜野小学校
			公開授業	第5学年 A 善悪の判断、自律、自由と責任 教材名「うばわれた自由」 B 親切、思いやり 教材名「最後のおくり物」
	講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 堀田 竜次 氏		
部会名		研究内容	発表会	
特別活動	研究主題	他者と関わって、分かり合い、支え合う人間関係を築く児童の育成 ～ 学級活動(1)における、考えや思いの共有と、よさを伝え合う活動の積み重ねを通して～	日時	令和6年2月21日(水) 午後1時55分から午後4時30分まで (受付開始: 午後1時30分)
	概要	自分のよさを自覚し、他者のために行動することで支え合う人間関係を築く児童の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ① 互いの考えや思いを共有し、自分のよさを生かして、友達や学級のために行動する手だてとして作成した「意見共有シート」の効果についての検証 ② 相手のよさを見付けて伝え合い、分類、整理することで、自分のよさを自覚する手だてとして活用した「付箋紙」の効果についての検証 ③ 自分のよさを他者のために生かすことができたかを振り返るための手だてとして作成した「学級会ノート」の効果についての検証	会場	瑞穂町立瑞穂第一小学校
			公開授業	第4学年 学級活動(1) 議題(予定) 「4年2組1年間がんばったね集会をしよう」
	講師	文部科学省初等中等教育局 視学官 安部 恭子 氏		
部会名		研究内容	発表会	
総合的な学習の時間	研究主題	主体的に学び続ける児童を育成する総合的な学習の時間 ～ 児童が自己評価を生かすための指導の充実～	日時	令和6年2月14日(水) 午後1時30分から午後4時30分まで (受付開始: 午後1時)
	概要	生涯にわたって様々なことに粘り強く挑戦し、自ら学び続ける児童の育成を目指した。 振り返りの場面における内省的な考え方を深める指導が、児童の学びたいという意欲につながると捉えた。その指導において、自己評価が重要であると考え、以下の2点を手だてとして研究及び検証授業を行った。 ① 児童の自己評価能力の育成 ② 児童が自己評価を生かす場面や環境の設定	会場	台東区立根岸小学校
			公開授業	第6学年 「守ろう地域を 命をつなごう未来へ」
	講師	東京都小学校生活科・総合的な学習教育研究会 会長 新宿区立落合第三小学校 校長 清水 仁 氏		

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（小・中 合同）

部会名	研究内容	発表会	
外国語活動・外国語	<b>研究主題</b> 主体的に英語でコミュニケーションを図ることができる児童・生徒の育成 ～ 小・中連携の視点を生かした言語活動の充実に向けて ～	<b>日時</b>	令和6年2月20日（火） 午後1時30分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	<b>概要</b> 主体的に英語でコミュニケーションを図ることができる児童・生徒の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ① 児童・生徒が授業のめあての設定及び振り返りを通じて、主体的に言語活動に取り組むための指導の工夫 ② 小学校での学びを中学校での学びに生かすことで言語活動を充実させる指導の工夫	<b>会場</b>	墨田区立第二寺島小学校
		<b>公開授業</b>	第6学年 Unit8 「I want to join the brass band. ～ 二寺に残そう私たちの思い ～」
		<b>講師</b>	元東京都小学校外国語教育研究会 会長 三鷹の森学園三鷹市立高山小学校 校長 吉村 達之 氏

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（中学校）

部会名	研究内容		発表会	
社会	研究主題	生徒が主体的に課題追究、課題解決に取り組むための指導の工夫	日時	令和6年2月19日（月） 午後1時25分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	主体的に課題追究、課題解決に取り組むことができる生徒の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。  ① 生徒同士の生徒の興味・関心を基にした学習課題の設定 ② 生徒一人一人が学習方法を選択し、他者と協働して課題追究、課題解決に取り組む場面の設定 ③ 生徒が単元等の学習全体を振り返り、自身の変容や成長を自覚するための「単元シート」の作成及び活用	会場	東京都立桜修館中等教育学校
			公開授業	第2学年 「地域の在り方」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 中嶋 則夫 氏
部会名	研究内容		発表会	
数学	研究主題	数学における協働的な学びを実現させる指導の工夫 ～ 数学的に表現する力の育成 ～	日時	令和6年2月19日（月） 午後1時30分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	数学における協働的な学びを実現させるためには、授業時に、生徒が自身の考えをもち、伝え合う活動を主体的に行う必要がある。さらに、協働的な学びを実現する際、言葉や数、式、図、表、グラフなどの様々な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力が育成できると考え、研究主題を設定した。本研究では、問題設定の工夫と授業展開の工夫を行うことで、数学的に表現する力の育成を目指した。	会場	八王子市立甲ノ原中学校
			公開授業	第1学年 「平面図形・いろいろな作図」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 水谷 尚人 氏
部会名	研究内容		発表会	
理科	研究主題	科学的な根拠に基づいて考察・表現ができる生徒の育成	日時	令和6年2月15日（木） 午後1時35分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	自己と他者の考えを比較することを通して自己の考えの妥当性を検討し、より良いものへと再構築できる生徒の育成を目指し、以下2点による指導方法について研究を行った。  ① 課題解決において、結果の分析、解釈の支援を行うことで、その考えを他者へ適切に行えるようにする指導 ② 事象や実験結果をあらかじめ個人で考え、考えたことを他者と共有することで新たな考え方に気づき、自分の考えをより妥当なものとする指導	会場	多摩市立多摩中学校
			公開授業	第2学年 「電流とその利用」
			講師	東京都中学校理科教育研究会 会長 日野市立日野第一中学校 校長 和田 栄治 氏

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（中・高 合同）

部会名	研究内容	発表会	
特別活動	研究主題		互いのよさを認め合い、自己の可能性を発揮する力の育成を目指すホームルーム活動（学級活動）の工夫 ～ 多様な他者を尊重した協働的な学びの充実～
	概要	日時	令和6年2月16日（金） 午後1時20分から午後4時30分まで （受付開始：午後0時50分）
		会場	千代田区立麴町中学校
		公開授業	第2学年 学級活動(1) 「最上級生としての自覚をもつために、残り1か月の生活をどのように送るか考えよう。」
	講師	東京都中学校特別活動研究会 会長 品川区立鈴ヶ森中学校 校長 滝沢 二三雄 氏	
			① 生徒自ら課題を発見する方法の工夫 ② 互いのよさを認め、自己の可能性を発揮できる話合い活動の工夫



## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（高等学校）

部会名	研究内容		発表会	
地理歴史	研究主題	デジタル機器の利活用により、学びの手法を選択して、現代的な諸課題について探究する学習活動と学習評価の工夫・改善	日時	令和6年2月5日（月） 午後1時から午後4時30分まで （受付開始：午後0時30分）
	概要	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善と学習評価の充実に向けて、以下の点を中心に研究を行った。	会場	東京都立南平高等学校
		① 複数の史資料から得た情報を取捨選択したり、自分の意見と他者の意見を共有・比較したりして、問いを立てる学習活動を導入	公開授業	第1学年 歴史総合 「国際秩序の変化や大衆化と私たち」
		② 学習内容と現代的な諸課題を関連付ける場面において、学びの手法を選択し、具体的な課題を設定する学習活動を導入	講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 空 健太 氏
③ デジタル機器の利活用により、授業中に、速やかに生徒の意見等を見取ることや、授業後に、学習履歴（スタディ・ログ）を踏まえた学習評価を導入				
部会名	研究内容		発表会	
公民	研究主題	現代の諸課題の解決に向けて合意形成する力を育成するための授業改善と学習評価の充実～実社会とのつながりを意識した「問いを立てる力」と「批判的思考力」の育成～	日時	令和6年2月1日（木） 午後1時20分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	事実を基に多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力や合意形成を図るために議論する力及び現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。	会場	東京都立目黒高等学校
		① 実社会とのつながりを意識した「問い」について論理的に思考したかの検証	公開授業	第2学年 「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」
		② 批判的に考察し、根拠を付けて意見が述べられたかの検証	講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 磯山 恭子 氏
③ 評価規準のルーブリック表や生徒相互評価により学習評価の充実が図られたかの検証				
部会名	研究内容		発表会	
理科	研究主題	科学的に探究する力を育成するための授業改善～個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組を通して～	日時	令和6年2月15日（木） 午後1時30分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指し、以下について研究を行った。	会場	東京都立府中高等学校
		○ 生徒が学習内容と自然の事物・現象を関連付ける学習課題に取り組む中で、生徒一人一人の学習状況に応じた指導・助言を行ったり、グループでの学び合い活動を行ったりすることによる思考力、判断力、表現力等の向上の検証	公開授業	第2学年 「生態系とその保全」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 小林 一人 氏

部会名		研究内容	発表会	
外国語	研究主題	「読むこと」と「話すこと（発表）」の統合的な言語活動を通じた指導と評価 ～ 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて～	日時	令和6年2月5日（月） 午後1時30分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時10分）
	概要	<p>本文の概要や要点を捉える指導の工夫により内容理解を深めた上で、生徒の意見を引き出す活動を取り入れることで、生徒の自分の意見を論理的に話す力を伸ばすことを目指し、以下の点を中心に研究を行った。</p> <p>① 本文の概要や要点を捉えさせる指導・活動や生徒の意見を引き出す指導・活動の効果についての検証</p> <p>② 発表時にデジタル機器を活用して録音することについての検証</p>	会場	東京都立日比谷高等学校
			公開授業	第2学年 Unit 9 「What is important when choosing a job? (Enrich Learning) 」
			講師	国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 富高 雅代 氏

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（特別支援学校等）

部会名	研究内容		発表会	
知的障害教育	研究主題	自他の理解を深め、他者と関わろうとする児童・生徒を育むための指導の工夫	日時	令和6年2月19日（月） 午後2時から午後4時30分まで （受付開始：午後1時30分）
	概要	自他の理解を深め、話し合い活動等で積極的に他者と関わろうとする児童・生徒の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。  ① 自尊感情測定尺度を基に児童・生徒の実態や課題を鑑みて作成した「自他の理解や他者とのかわりに関するチェックシート」についての検証  ② 上記のチェックシートを用いて評価を行いながら行った、児童・生徒に自己評価させるための手だて及び指導効果の検証	会場	文京区立関口台町小学校
			公開授業	※ 録画による授業公開 中学校：特別支援学級 「道徳」
			講師	東京都教育庁指導部特別支援教育指導課 統括指導主事 山田 智博
部会名	研究内容		発表会	
発達障害等教育	研究主題	発達障害のある児童・生徒が自分の良さや強みを見付ける指導の工夫 ～ 自己の理解を深め、自己肯定感を育む指導 ～	日時	令和6年1月29日（月） 午後2時から午後4時30分まで （受付開始：午後1時30分）
	概要	児童・生徒自身が自己を理解し、良さや強みに気付くように指導することで、自己肯定感を高め、集団における児童・生徒の可能性を引き出すことを目指し、以下の点を中心に研究を行った。  ① 発達段階を踏まえた、児童・生徒が自己を理解するための「自己発見シート」の作成  ② 自分の良さや強みを認識できるような内容や方法を工夫した授業の実施  ③ 自己肯定感を育むことに関する「自己発見シート」の有効性と活用方法の検証	会場	葛飾区立清和小学校
			公開授業	※ 録画による授業公開 ○小学校 第4・5学年：特別支援教室 「小集団指導」 ○中学校 第1～3学年：知的障害特別支援学級 「市民科」 ○中学校 第2学年：特別支援教室 「個別指導」
			講師	東京都教育庁指導部特別支援教育指導課 統括指導主事 平澤 庄吾

## 令和5年度 教育研究員部会別発表会概要（全校種）

部会名	研究内容	発表会		
学校保健	研究主題	生涯にわたって自他の心身を大切にすることのできる児童・生徒の育成 ～ 心の健康教育における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を通して～	日時	令和6年2月20日（火） 午後1時30分から午後4時30分まで （受付開始：午後1時）
	概要	<p>全ての子供たちに、心の健康について、自他の課題を見付け、解決に向けて思考判断するとともに、適切な情報を選び、学んだ知識をより深められる児童・生徒の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。</p> <p>① 個別最適な学びを実現するため、養護教諭の専門性を生かした効果的な授業についての検証 ② 協働的な学びにおける、発問の工夫、デジタル機器の活用の工夫等についての検証</p>	会場	北区立王子桜中学校
			公開授業	第1学年 「心の健康」（保健体育科保健分野）
			講師	文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎 美枝 氏